

## 特集 ■ VR 技術と宇宙への夢

## 特集にあたって



小木哲朗

Ogi Tetsuro

慶應義塾大学

2013 年の最初の号なので、夢のある特集をということで、今回の特集「VR 技術と宇宙への夢」をお届けすることになった。

もともと私自身は宇宙工学の分野にそれほど造詣があった訳ではないが、昨年国際宇宙ステーション (ISS: International Space Station) に滞在中の星出彰彦宇宙飛行士と慶應義塾大学との間で交信イベントを行う機会を得たのがきっかけであった。この際 JAXA からは、大学として高等教育につながるようなイベントにして欲しいとの要望があり、大学としては全 6 回の連続宇宙公開講座を企画し、その最終回で国際宇宙ステーションとリアルタイム交信を行い、宇宙にいる星出宇宙飛行士に直接質問し、宇宙から解説してもらおうという企画となった。連続公開講座としては、毎回宇宙工学に関連する第一人者を招いて話をさせていただき、私自身も初歩から学ばせていただくいい機会となった。その過程で、宇宙開発の現状や宇宙技術の応用等を改めて学び、我々の VR 技術と関連する領域が非常に多いことを認識させられた。国際宇宙ステーションとの交信イベントの詳細については、本特集の中で書かせていただいたが、ネットワークがつながり、遥か上空の宇宙に滞在している星出宇宙飛行士の立体映像がスクリーンに映し出された瞬間は、子供に戻ったような興奮を感じ、宇宙というコンテンツの持つ大いなる「夢」を感じた。本特集は、この興奮が冷めないうちに多くの読者に届けたいという気持ちで、企画されたものである。

特集の内容としては、JAXA の谷口博隆氏に有人宇宙活動への VR 技術の活用について、NHK エンジニア

リングサービスの山崎順一氏に宇宙からの撮影映像技術について、また今回の連続宇宙公開講座の企画を中心になって行った慶應義塾大学の神武直彦氏には衛星測位と位置情報サービスについて原稿をいただいた。また宇宙芸術の研究領域について、JAXA の内富素子氏に beyond の取り組みについて、多摩美術大学の久保田晃弘氏に衛星芸術について原稿をいただいた。また本特集のきっかけになった国際宇宙ステーションとの交信イベントについては、私の方で紹介させていただいた。

特集としては、宇宙というコンテンツに対して、設計、訓練、映像、可視化、通信、サービス、芸術等いろいろな視点からの原稿を集めることができ、多くの方々に興味を持っていただけるのではないかなと思う。また本特集が皆様の研究の夢を広げるきっかけになっていただくことを期待する。

## 【略歴】

小木哲朗 (OGI Tetsuro)

慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

1984 年東京大学工学部卒業、1986 年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、1994 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士 (工学)。1986 年三菱総合研究所入社、1996 年東京大学大学院工学系研究科助教授、2004 年筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授、2008 年より現職。専門は没入型ディスプレイ技術、テレマージョン等。著書『サイバースペース入門』、『シミュレーションの思想』等。